

令和3年8月25日

会員各位

第69回全国博物館大会
大会委員長 銭谷 眞美

第69回全国博物館大会のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より博物館の運営、活動にご尽力されていることに敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

さて、今年で69回目を数える全国博物館大会は、公益財団法人日本博物館協会の主催、北海道博物館協会の共催のもと、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会の後援を得て、令和3年11月17日（水）から11月18日（木）までの2日間、札幌市の「かでる2・7（北海道立道民活動センター）」を会場として、「博物館法制定70周年記念大会 文化の多様性をつなぐ博物館」をテーマに開催いたします。

今大会では、昨年7月にウポポイ（民族共生象徴空間）に国立アイヌ民族博物館が誕生した北海道の地で、博物館をめぐる文化の多様性を中心に博物館の可能性について考えたいと思います。現地実行委員会のご尽力により、世界的な古生物学者である小林快次氏（北海道大学総合博物館教授）の基調講演をはじめ、分科会では、北海道の博物館の先進的な連携への取組を中心に、文化の多様性、自然や地域との関わり、そして災禍と持続可能性等、博物館を取り巻く重要な課題について、多彩で充実したプログラム構成となりました。

長引くコロナ禍の下で、全国の博物館が運営にご苦労されている状況下での2回目の全国博物館大会となりますが、逆境の中で、博物館の連携と団結の重要性を確認した昨年の横浜大会に続き、改めて博物館が果たすことのできる社会的役割を共有するために、大きな意義のある大会にしたいと存じます。

新型コロナウイルス感染拡大につきましては、デルタ株の流行等で予断を許さない状況が続いております。本年の大会も昨年同様、2日間の変則プログラムでの開催となりますが、今後の状況の変化をしっかりと見極めつつ、感染症対策に万全を期しながら準備を進めてまいりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

<開催要項>

主催 公益財団法人日本博物館協会
 共催 北海道博物館協会
 後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会
 会期 令和3年11月17日(水)～11月18日(木) 2日間
 会場 かでる2・7 (北海道立道民活動センター)
 住所：北海道札幌市中央区北2条西7丁目
 TEL：011-204-5100

案内図



J R	札幌駅南口	徒歩 13分
地下鉄	さっぽろ駅 (10番出口)	徒歩 9分
	大通駅 (2番出口)	徒歩 11分
	西11丁目駅 (4番出口)	徒歩 11分



<日程>

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、すべての予定が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

第1日目：11月17日（水） 会場：かでの2・7（北海道立道民活動センター）かでのホール

時間	プログラム
11:00～12:00	表彰式・記念撮影：博物館功労者・永年勤続者 1号・2号・4号表彰 ※関係者のみ
12:00～13:30	受付 ※検温等の感染予防対策を実施します。
13:30～14:15	開会式 挨拶：銭谷眞美（日本博物館協会会長） 祝辞：文化庁長官、北海道、札幌市 表彰式：日本博物館協会賞、棚橋賞、博物館活動奨励賞
14:30～15:15	基調講演「古生物学者の語る博物館の未来（仮題）」 講師：小林快次（北海道大学総合博物館教授）
15:30～17:00	全国博物館フォーラム「今後の博物館制度の在り方 ～課題と展望～」 文化庁はじめ詳細プログラム調整中

第2日目：11月18日（木） 会場：かでの2・7（北海道立道民活動センター）かでのホールほか

時間	プログラム
9：30～12：00	分科会1「博物館と文化の多様性」 分科会2「自然史は博物館で生き残れるのか？」 ～標本・人材・文化と地域史～ 分科会3「繰り返される災禍の中で、博物館のサステナビリティを考える」 ※各分科会の詳細は次頁をご参照ください。
12：00～13：30	昼食／休憩 (12:00～13:00 決議起草委員会)
13：30～15：30	シンポジウム（分科会の総括） 司会：半田昌之（日本博物館協会専務理事） 報告者：佐々木史郎（国立アイヌ民族博物館長） 報告者：持田 誠（浦幌町立博物館学芸員） 報告者：細川 健裕（北海道開拓の村学芸員）
15：45～16：45	展示会プレゼンテーション
17：00～17：30	全体会議、閉会式

分科会1「博物館と文化の多様性」

内容：2020年に国内で初めてアイヌの歴史・文化を学び伝えるナショナルセンターとしてウポポイが設立され、多文化共生社会の実現に向けた機運がさらに高まっている。本分科会では、様々な観点から文化の多様性について考え、将来の多様で文化が共存する社会における博物館のあり方について議論する。

コーディネーター：佐々木史郎（国立アイヌ民族博物館長）

報告①「アイヌ民族の芸能から考える博物館の多様性（仮）」

講師：押野朱美（国立アイヌ民族博物館教育普及室学芸員）

報告②「北海道立北方民族博物館の活動と多様性（仮）」

講師：笹倉いる美（北海道立北方民族博物館学芸主幹）

報告③「地域の文化と担い手への着目（仮）」

講師：尾曲香織（北海道博物館学芸員）

報告④「アール・ブリュットが教えてくれた多様性の魅力」

講師：菊地雅子（ボーダレスアートサポート北海道 BASH 代表）

分科会2：「自然史は博物館で生き残れるのか？～標本・人材・文化と地域史～」

内容：博物館をめぐる環境は激変している。その中でも自然史資料の保存についても、博物館の受け入れ環境、環境の保全、さらにそのフィールドを調査し、社会にフィードバックしていく人材の育成など、課題は山積している。そのような現状をふまえ、従来、人文系の博物館活動ととらえられていた地域史（地域誌）も自然の営みの中で見つめなおし、真に総合的な地域の歩みをつたえていく新たな試みを探る。

コーディネーター：持田誠（浦幌町立博物館学芸員）

報告①「千年スケールの自然と人間～千年後に標本を残せるか？～」

講師：志賀健司（いしかり砂丘の風資料館学芸員）

報告②「文系と理系の境界領域資料「人骨」はどうすればいい？」

講師：橋本裕子（中部学院大学看護リハビリテーション学部講師）

報告③「小さな町のフィールドミュージアム～ブナ北限の里・普及教育活動の現場から～」

講師：綿貫梓（黒松内町ブナセンター環境教育職員）

報告④「博物館ネットワークと階層化：地域の自然史を理解し維持するための知恵」

講師：大原昌宏（北海道大学総合博物館教授（副館長））

分科会3：「繰り返される災禍の中で、博物館のサステナビリティを考える」

内容：度重なる災害に悩まされ、COVID-19感染拡大に直面、少子高齢化と人口減少が地域経済を衰退させ、観光依存も不安、設備投資もままならない等々、博物館に降りかかる課題が多様化するなか、地域にあってこそ、その普遍的価値を自他ともに認識し、持続可能な開発機関として、地域社会に貢献する博物館を問う。

コーディネーター：細川健裕（一般財団法人北海道歴史文化財団第一事業部主幹
北海道開拓の村学芸員）

報告①「博物館が持つ“ヒト”“モノ”“ネットワーク”を駆使し、

災害被災地域の復興を成し遂げてきた持続可能な博物館活動」

講師：八木剛（兵庫県立人と自然の博物館自然・環境再生研究部主任研究員）

報告②「度重なる臨時休館のなか、地域に学ぶ機会と情報を発信し続け、

人々に文化による憩いと安らぎを創出する活動」

講師：垂石寛史（札幌市生涯学習センター事業課事業係長）

報告③「歴史遺産豊かな観光都市で、博物館に潜む無限の資源を活用した地域活性と

再生を模索する取り組み」

講師：白鳥陽子（うんがぶらす株式会社取締役プロデューサー）

報告④「理想と現実の狭間！ 極寒の地で重要文化財の保持と闘いながら

地域博物館の使命と観光地としての情報発信に取り組む博物館活動」

講師：今野久代（公益財団法人網走監獄保存財団業務執行理事・博物館網走監獄副館長）

参加申込方法のご案内

1. 会場の定員について

主会場である「かでる2・7」では、新型コロナウイルス感染対策の一環として、ホールや会議室の使用人数に制限があります。締切時点で定員を上回った場合には、大会事務局にて参加者人数を調整させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

2. 申込方法について

1 団体あたりの参加者は3名までエントリーいただけます。(但し、参加を保証するものではありません。) コロナウイルス発生により状況が流動的であるため、参加の可否、キャンセル発生による繰り上げ参加等、申込書受付後の連絡は、原則 E-mail にて行います。 参加の可否については、申込代表者の E-mail アドレスへお知らせします。(10月下旬に連絡を予定しています。) なお、E-mail アドレスの記載がない場合は、電話もしくは FAX にてご連絡しますが、E-mail アドレス記載のある方を優先いたしますので、連絡可能なメールアドレスを必ずお書きください。

***大会申込用紙：**

参加申込書は当協会 HP (<https://www.j-muse.or.jp/>) からダウンロードできます。

ダウンロードできない場合は、日本博物館協会まで E-mail にてご請求いただければ、参加申込書をメールでお送りします。

FAX にてお申込みの場合は、P9 の大会参加申込用紙に必要事項を記入の上、日本博物館協会までお送りください。

【参加申込書送付・問合せ先】

公益財団法人日本博物館協会 大会係

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2-52 黒田記念館別館3階

E-mail : webmaster@j-muse.or.jp

TEL : 03-5832-9108 FAX : 03-5832-9109

3. 申込締切について

参加申込締切は10月20日(水)です。(同日までキャンセル可)

4. 参加費の支払いについて

今回の大会は、上述の事情により後払いとさせていただきます。

大会参加者には、大会当日、受付にて請求書をお渡ししますので、大会終了後に指定口座までお振込みください。当日の支払いは混乱を避けるためにご遠慮ください。

今後のコロナウイルス発生状況により変更となる場合がございますので、ご了承ください。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、以下の行事は取り止めます。

- ・情報交換会
- ・施設見学・エクスカージョン

大会参加費について

大会参加費 会員 6,000円
 非会員 10,000円
 (いずれも1名につき)

※大会参加費は大会終了後の後払いとなります。

詳細は前頁の「参加申込方法のご案内」でご確認ください。

資料交換のご案内

資料交換ご希望の館園は、パンフレット、リーフレット等各350部を11月15日(月)必着にて下記宛にご送付ください。

送付先：〒060-0002

北海道札幌市中央区北2条西7丁目

かでの2・7 (北海道立道民活動センター) 気付

日本博物館協会 第69回全国博物館大会 係

昼食・宿泊について

会場周辺にはレストランやホテルが多数ありますので、各自でご手配ください。

第69回全国博物館大会参加申込書

(※締切 令和3年10月20日(水))

参 加 者	ふりがな			
	1. 氏名			
	2. 所属団体名			
	3. 職名		4. 都道府県名	
	5. 住所	〒		
	6. 電話		7. FAX	
8. E-mail				
大会2日目 分科会 (11月18日)		参加 (参加ご希望の番号に丸印をお付けください) 1 博物館と文化の多様性 2 自然史は博物館で生き残れるのか? ～標本・人材・文化と地域史～ 3 繰り返される災禍の中で、博物館のサステイナ ビリティを考える 不参加		
参加費区分 該当するものに丸印をお付けください		会員の方 6,000円 会員外の方 10,000円		
請求書類について ・ 請求書宛先、日付等ご指定がある場合はこちらにご記入ください。 ・ 請求書宛先が所属団体名と同一の場合は記載不要です。				
通信欄 (フォーラム・シンポジウム・分科会での議論を活発にするため、貴館園あるいはあなたのご意見、事例等がありましたらご記入ください。)				

(注) 2名以上申し込まれる場合は、1名ずつ別個にご提出ください。

E-mail アドレスは必ずご記入ください。

第69回全国博物館大会にご参加の皆様へ

(大会実行委員会公認 有料オプション・エクスカージョンのご案内)

北海道中央バス株式会社
観光事業推進本部
シービーツアーズカンパニー

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は第69回の全国博物館大会開催、誠にありがとうございます。

さて 本大会では大会主催者としてのエクスカージョンは実施されないのご事情を踏まえ、全国からご来道いただきます参加者の皆様に、昨年7月開設の日本最北の国立博物館ウポポイ、本年7月に世界文化遺産登録の縄文遺跡群をご覧頂きたく下記の要領にて、弊社としてオプション・エクスカージョンの企画・提案をさせていただきました。

大会へご参加をご予定の皆様には、この機会にオプション・エクスカージョンへも是非ご参加くださいますようご案内いたします。

敬具

記

○全国博物館大会終了後の観光ご案内（全コース、コロナ感染対策を実施。バスは2座席1名使用）

A コース 宿泊（1泊2日） コース 最少催行人員 18名様

11月19日（金）～20日（土）ウポポイと世界文化遺産（縄文遺跡群）を観る・学ぶ旅

1日目 札幌＝白老町（国立博物館・ウポポイ）＝世界文化遺産縄文遺跡（伊達市北黄金貝塚館）＝洞爺湖（入江・高砂貝塚館）＝函館市内（宿泊は国際ホテル）

2日目 函館＝世界遺産（縄文文化交流センター・垣の島遺跡）＝大船遺跡＝（昼食）＝函館空港13時20分頃（解散可）＝JR函館北斗駅（解散可）＝高速道路＝札幌

旅行代金概算（シングル利用で概ね38,000円 バス代、宿泊2食付、昼食2回、入館料金、高速料金、旅行傷害保険など含む）

B コース 日帰コース 最少催行人員 18名様

11月19日（金）世界文化遺産（縄文・キウス周提墓群）とウポポイを観る・学ぶ旅

札幌＝世界文化遺産縄文遺跡（千歳市キウス周提墓）＝（昼食）＝白老町（国立博物館・ウポポイ）＝

＝高速道路＝千歳空港（16時頃解散可）＝札幌駅北口（17時頃）

旅行代金概算（概ね9,500円 バス代、昼食1回、入館料金、高速料金、旅行傷害保険など含む）

C コース 日帰コース 最少催行人員 18 名様

11月19日(金) アイヌ文化のふるさと平取(二風谷)とウポポイを観る・学ぶ旅

札幌 = 平取町(二風谷アイヌ文化博物館) = (昼食) = 白老町(国立博物館・ウポポイ) =
= 高速道路 = 札幌駅北口(19時頃)

行代金概算(概ね 11,500 円 バス代、昼食 1 回、入館料金、高速料金、旅行傷害保険など含む)

○旅行企画・主催 北海道中央バス株式会社 観光事業本部 シィービーツアーズカンパニー

☎060-0041 札幌市中央区大通東 1 丁目 3 📠011-221-1122 fax011-221-0117

担当 小林裕明 山内康敬 嶋田浩彦 戎谷侑男

○お申込みは 10 月 20 日迄、下記に○印を付け FAX にてお申込みください。

お申込み内容の確認後に詳細パンフレット、資料をお送りします。

お名前 _____ 年齢 _____ 歳 連絡先 _____

ご住所 _____ mail= _____

参加希望コース A (宿泊) _____ B (日帰り) _____ C (日帰り) _____